

平成26年1月17日

## 農薬(マラチオン)混入の疑いがある冷凍食品による健康被害の発生について

### 1 概要

(株)マルハニチロホールディングスの子会社である(株)アクリフーズの群馬工場が製造し、全国的に流通している冷凍食品の一部から本来含まれていない農薬(マラチオン※下段参照)が、平成25年12月に検出され、吐き気、腹痛などの健康被害も発生、現在、群馬県及び群馬県警が原因を調査するとともに、同工場で製造した全商品を自主回収している。

### 2 製造施設

製造者 群馬県邑楽(おうら)郡大泉町吉田1201  
株式会社アクリフーズ群馬工場

### 3 経過

平成25年11月13日

(株)アクリフーズが、冷凍食品から異臭がするとの消費者から申し出を受け

平成25年12月27日

同社が、苦情品のミックスピザから農薬(マラチオン)が検出(外部検査機関にて実施)

平成25年12月29日

(株)マルハニチロホールディングス及び(株)アクリフーズが緊急記者会見  
自主回収開始

平成25年12月30日

群馬県が立ち入り調査実施

平成26年1月4日

群馬県警が、(株)アクリフーズの群馬工場を実況見分及び従業員全員の聞き取り開始

平成26年1月8日

群馬県警が、流通食品毒物混入防止法違反罪の適用を視野に捜査を開始

### 4 自主回収対象

全国流通する同工場で製造された商品94品目 640万パック

- ・原因が調査中のため賞味期限にかかわらず、(株)アクリフーズ群馬工場で製造された全商品対象
- ・自社ブランドのほか、流通大手、生協のPB(プライベートブランド)を含む  
1月15日現在の回収数 約428万パック(回収率66.9%) 同社発表

### 5 群馬県の調査結果

下記事由により当該施設における製造工程上で汚染された可能性は低い。

- ・工場内で使用されている薬剤リストにマラチオンはない。
- ・苦情品の汚染状況が均一でない。
- ・高濃度で検出されており、原材料に由来ではないと考えられる。

### 6 健康被害等の問い合わせ状況

1月16日現在、厚生労働省が集計した結果、47都道府県において健康被害の問い合わせ件数及び有症者数は、2,245件、2,717名でした。

その内三重県では、44件、64名の方々が、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢等の症

状を呈し、保健所へ問い合わせがありました。

なお、入院された方はおらず、全員軽症です。

## 7 農薬（マラチオン）の検査について

問い合わせのあった事例について、食べた食品の残品のうち保健所へ提出されたものについて県の保健環境研究所で検査を実施しています。

なお、1月16日現在、19事例20検体の検査を実施が終了しましたが、マラチオンは検出されていません。

また、1月16日現在、全国の自治体で同様の検査が実施されており、822検体について、マラチオンは検出されていません。

## 8 今後の対応

引き続き、県民からの本件に関する問い合わせについて、個々に商品の確認や健康被害等の聞き取りを実施します。

また、届出者から提供があった残品について、県の保健環境研究所で農薬（マラチオン）の残留検査を実施します。

販売店等の店頭からは既に商品は撤去されていますが、家庭内で保管されている可能性があるため、引き続き三重県ホームページへ健康被害等に関する情報を掲載し、県民への注意喚起を継続します。

### 参考

#### ※マラチオンについて

有機リン系の殺虫剤で、穀類、野菜、果実などに使用され、国内では、農薬取締法に基づき使用が認められています（別名マラソン）。米、野菜などの作物ごとに残留基準が設定されています。

マラチオンによる中毒症状としては、吐き気・嘔吐、下痢、腹痛、唾液分泌過多、発汗過多、軽い縮瞳などがあります。